



# さとやま

## 7月に見られるいきもの



上の写真は、7月下旬頃のセンター付近の様子です。正面のグリーンカーテンには、今年はかわいい**フウセンカズラ**も植えられました。梅雨が明ければ、左手の**コナラ**の木の樹液には、**ノコギリクワガタ**をはじめとする、たくさんの昆虫たちが集まります。

里山エリアには、**ヌマトラノオ**の群生が見られ、変わった形の**ミゾカクシ**の花も咲いています。

万灯山へ向かう道では、頭上の**リョウブ**の花に、アゲハチョウの仲間がよく訪れます。足元の半日蔭には、**ヤブミョウガ**が花をつけます。

万灯山山頂では、夏に咲くのに**アキノタムラソウ**という名の花が群生し、ところどころにかわいい**ヒメヤブラン**の花が見つかります。

本格的な暑さがやってくる前に、こんな生き物たちをさがして、里を散策してみませんか。



フウセンカズラ



ノコギリクワガタ



ヌマトラノオ



ミゾカクシ



リョウブ



ヤブミョウガ



アキノタムラソウ



ヒメヤブラン

# 里の生き物紹介

# 里の揚羽たち

夏、様々な種類のアゲハチョウの仲間が里を飛び交います

蝶の中でも大型で美しいアゲハチョウの仲間は、主にミカン科の植物に卵を産みます。下の写真はナミアゲハです。幼虫は、4回ほど脱皮して成長します。種類によって違いがありますが、ほとんどは若齢のうち、黒色に白い模様のある鳥の糞に擬態した姿をしています。終齢の幼虫は緑色で大きな目玉模様のある、「柚子坊（ゆずぼう）」という愛称で呼ばれる姿になります。幼虫は刺激すると頭部から黄色からや赤紫色の「臭角」と呼ばれる角を出し、異臭を放ちます。これらで天敵から身を守ります。

蛹は、体に糸をかける「帯蛹（たいよう）」タイプです。触れると音を立てて身をよじる仕草をします。これも鳥等から身を守る工夫です。ほとんどの種は年に2～3回世代を繰り返す、蛹で越冬します。



里で見られるアゲハチョウの仲間をご紹介します、まずはセンターゾーンでよくみられる種類です

ナミアゲハは、人家の近くでもよく見られるアゲハチョウです。

よく似ているキアゲハは、黄色味を帯びていることや、前翅のつけ根が黒ずんだ色で塗りつぶされていることで見分けられます。幼虫は、ニンジンなどセリ科の植物を食べます。里では、ミツバなどで見つけることができます。終齢幼虫は柚子坊にならず、体節ごとに黒に橙色の斑点のある帯が入ります。シシウドなどの高山植物も食べるため、低地から高山まで見られます。



アオスジアゲハは、その名のとおり前翅・後翅にかけて青い帯があります。花から花へ高速で飛び回ります。幼虫はクスノキ科の植物を食べ、ほかのアゲハチョウとは全く違う姿で、2～3 齢頃から緑色をしています。前方に3対の突起があり、4 齢から3列目の突起を左右に結ぶ黄色い線が現れます。

ナガサキアゲハは、南方系で、本来この地方にはいない蝶でしたが、温暖化により越冬できるようになり、分布を広げてきました。アゲハの中でも大型です。他のアゲハチョウの仲間にある、後翅の突起がありません。写真は雌ですが、雄には白い紋がありません。ミカン等の栽培種のミカン科を好みます。



ナガサキアゲハ

この後の種類は、トンボの里から万燈山エリアでよく見られます



カラスアゲハ



モンキアゲハ



クロアゲハ

カラスアゲハは、表側のメタリックな緑色が美しい蝶です。幼虫は、イヌザンショウ、カラスザンショウなどの野生のミカン科の植物を好むので、山の中でよく見られます。

モンキアゲハは、ナガサキアゲハと並び大型です。この蝶も南方系ですが、少しずつ分布を北に広げています。よく目立つ白い紋は、日がたつと少しずつ黄色味を帯びるため名がついたようです。リョウブやクサギなど高い木の花で綴蜜することが多いようです。



臭角を出すクロアゲハの終齢幼虫



オナガアゲハ

クロアゲハは表側は真っ黒です。やや暗い場所をフワフワと飛びます。

オナガアゲハは、クロアゲハとよく似ていますが、後翅の突起が細長く、スマートな印象です。幼虫は野生種のミカン科を好みます。里では、写真のようにぶら下がるようにとまっている姿がよく見られます。

これらの黒いアゲハチョウたちは、後翅の裏側に赤い斑点が見られます。これは、幼虫がウマノスズクサ科の植物を食べてその毒を蓄える、ジャコウアゲハに擬態しているためだと言われています。しかし、里付近では食草がないためか、ジャコウアゲハはみつきりません。

万灯山の山頂でお弁当を食べていると、同じ種類の蝶が何度も同じルートで飛んでいることに気が付きます。このようなルートを「蝶道」といいます。特にアゲハチョウではよく見られます。明るいところを好むモンキアゲハなどは、登山道沿いに飛ぶことが多く、よく鉢合わせします。暗いところを好むクロアゲハは、林の中に蝶道があります。

また、湧き水が流れる場所では、アゲハチョウが地面に降りて吸水しているところを見かけることがあります。これは蝶の仲間のオスによくみられる行動で、オスの体に必要な成分を補給するためだと言われています。

里でこんなアゲハチョウたちを探してみませんか。



集団で吸水するモンキアゲハとカラスアゲハ

## 7月の行事予定

25日(日)	梅雨時のきのこを探そう	20名	AM9:30~11:30	石川まゆみ
--------	-------------	-----	--------------	-------

◎内容 ~ 梅雨時の里山に多く生えるきのこを散策しながら見つけ、その性質を学びます。

## 8月の行事予定

1日(日)	水辺のいきものを探そう	30名	AM9:30~11:30	神本 晃
-------	-------------	-----	--------------	------

◎内容 ~ 里山から流れる小川に棲む魚などをタモで捕まえ、生態などを観察します。

8日(日)	夏休み昆虫教室	30名	AM9:30~11:30	山口 信夫
-------	---------	-----	--------------	-------

◎内容 ~ 木々に群がる昆虫の探し方や実際に手に触れて生態など学び、詳しく観察します。

22日(日)	木のミニカーづくり	20名	AM9:30~11:30	山本 俊雄
--------	-----------	-----	--------------	-------

◎内容 ~ 木っ端を使い子ども向けのミニカーを作ります。斜面から自走させて遊びます。

- ◆参加受付は、各講座3週間前の午前8時30分から先着順で来園、または電話にて受付します。また、お申込みは本人、もしくはそのご家族までとします。
- ◆参加申込者は**傷害保険に加入**のため、**小学生以上の方**とします。なお、**小さいお子さま**をお連れいただいても構いませんが「**見学报い**」とし、傷害保険の加入はありません。
- ◆**天候**や**少数**(6名以下/1講座)、**コロナ禍**などにより「**講座の中止・延期**」、または「**受講内容の変更**」する場合があります。
- ◆原則、**参加費は無料**ですが**材料費**などは**実費**を申し受けます。
- ◆**詳細な講座の内容**などは、直接**ネイチャーセンター**にご確認ください。

## 編集後記



今年の花菖蒲は開花が早く、6月はじめには見ごろを迎えました。カメラを持った多くの愛好者たちが来園されるなど、コロナ禍で行動自粛が続く中、のどかな里山にひっそり咲いた花菖蒲を見て、来園者みんながこころ癒されていました。

近くには花菖蒲の名所が数多くあります。豊橋の「賀茂しょうぶ園」は夜にライトアップされてとても有名です。当園は名所ではありませんが「知る人ぞ知る穴場的なスポット」として有名です。

## 西尾いきものふれあいの里

◆ところ 〒445-0031 愛知県西尾市家武町小草3番地 Tel・Fax 0563-52-0266

◆休日 毎週月曜日・祝日の翌日・年末年始 [12/28~1/4] ◆発行 西尾市環境部環境保全課